

きんもくせい

編集目標 人間尊重の教育を求めて

平成22年 学校教育だより

May **5** 第305号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会

発行・埼玉県富士見市教育委員会

電話・049-251-2711 (内線622)



最新の施設で学べる喜び (コンピュータ教室)

写真提供／つるせ台小学校

宇宙

針ヶ谷小学校 五年

福田峻介

宇宙は大きい

自分よりも

お父さんよりも

大きな木よりも

地球よりも

ずっと

ずっと大きい

だからぼくは大きくなりたい

あの宇宙のように

心をとめる疑問や驚きを

「水溶液の学習」と聞くと「何やら難しい学習をする」と思う人でも、「飲み物当てゲームをしよう」となったら、「おもしろそうだ」と感じ、「挑戦してみよう」と思うところだろう。

理科の学習の初めは、子どもたちが、自然や身の回りのものに「おや?」と心をとめ、「おもしろそう」と心を動かす、「調べたい」と行動を起こすことが大切だと思う。そこから、「どうやって調べる

のか」「どんな道具が必要か」と具体的な知識や技能について必要性を感じながら、学ぶ取組へと進んでいく。今回、六年生の水溶液の学習では、以上のことを基本に授業を進めていった。



目標と組み立てを明確に

教師は、教科書の内容を大切に、指導していくことが基本だ。だが、料理で味付けや盛り方を工夫するとおいしさが格段に違うように、授業も工夫次第で楽しさが違ってくる。

しかし、思いっただけでは成功しない。教師の研究心と目標が必要である。私は、井上ひさし氏の

一、難しいことを簡単に
二、簡単なことを面白く
三、面白いことを深く
という言葉を大切にしている。

特別支援教育

特別支援学級の理科学習

本郷中学校教諭 宮下 斉

今年度本校の特別支援学級は、九名の在籍で二学級となりました。三名の新入生を迎えて、みんな仲よく元気に学校生活が始まりました。

理科の授業もスタートしました。今年も日常生活に身近で、できるだけ手軽に興味・関心が持てる観察・実験に取り組んでいきます。活動は主に理科室を使用し、題材によってグルー

興味・関心、知識、技能の身に付けさせたい力を明確にし、授業を組み立てていった。

初めは五感で

水・食塩水・砂糖水・ココア・コーヒの入ったペットボトルを用意し、入っているものを当てる方法を話し合いました。子どもたちは、①見た目。②かぐ。③なめる。④蒸発させ残ったものを調べる。⑤ろ過してみる。の五つを考えた。

①から実際にやってみると、「②かぐ」でコーヒとココ

ブや個人で取り組む場合もあります。はじめはガスバーナーや顕微鏡などが、安全に正しく使えるように実習を行い、できるようにになったら様々な課題にチャレンジしていきます。

さて、子どもたちが意欲的に学習に取り組めるかどうかは、理科に限らずどんな教科においても、興味・関心を強く持てるかどうかで始まります。特に理科学

アを当て、「③なめる」で水と食塩と砂糖を当てることができました。経験を生かし、五感によって、飲み物を当てることができ、水溶液を実感させ、学ばせることができた。

すごい性質の水溶液

次の学習は、驚きから入った。塩酸に、アルミと鉄が溶ける様子を見せたからだ。すると「他の水溶液はどうなるのか調べたい。」と子どもたちが反応し、授業が展開していった。

「塩酸」「水酸化ナトリウ

習では観察・実験という体験活動を伴うため、その内容いかによっては、より興味・関心を持って取り組めます。また、観察・実験を通して身近な自然の現象の中に驚きや感動等、新たな発見が出来ます。また、同時にコミュニケーションの力や手先の器用さ、仲間意識等、様々なことが身に付いていきます。「ああ、今日の実験おもしろかった。先生、次はどんな実験するの?」という会話ができる理科学習を目指したいと思っています。

ム水溶液」「水」の三つを用意し、予想を立てて実験を行った。子どもたちは、結果を次のようにまとめた。

①塩酸は、鉄もアルミも溶かし、水酸化ナトリウム水溶液はアルミを溶かし、水は反応なし。②溶ける時あわが出て、火をつけたら音がして燃えた。③「体につけたり、飲んだりしたら危険だ。」ということがよく分かった。④酸性雨や中国の毒を調べる銀のはしのことも分かった。⑤溶けたアルミは、前と違う性質になっていた。

わかる授業 = 小学校6年の理科 =

心と身体をゆり

教育随想

教育委員就任に当たって

教育委員 簗輪 菊雄



何で調べる？

次は、魔法の水としてB T B 試薬を用意し、塩酸と水酸化ナトリウム水溶液と水に注いだ。すると、黄・青・緑の三色に分かれた。子どもたちは目を丸くしていた。

いよいよ危険な水溶液でも調べられるので、子どもたちは、ワクワクしている。また、家にある水溶液で調べてみたいものを持つてくることになっているので、コーラ・洗剤・調味料などを用意してきた。B T B 試薬で調べてみると、

多くのものが、黄色か緑色になることがわかった。

次に、リトマス紙を使い、水溶液の性質を酸性・中性・アルカリ性の三つに分けることを学んだ。同じ酸性でも鉄やアルミを溶かすものと溶かさないうものがあることに疑問を持つ子どもがいた。そこで、ペーハーメーターで調べると、塩酸は数値が低く1〜2で、家から持ってきたものは4〜6ぐらいになっていた。このことから、同じ酸性でも強さによって性質が違ってくるに気づいた。水道に含まれている

とる主体を創ることにある。

知を拓く学びの基本は？（はてな）が！（そうか）に変わることだ。小さな疑問を持ち続け、解決する喜びは学びへの動機付けを与えてくれる。

難関入試合格へとシフトされた学校でなく、「学ぶことが喜びとなり隣の友が味方となる学校に！」と古いスローガンではあるが、今また掲げられる必要がある。

本市の先達の努力で推進されてきた「人間尊重」の教育を基本理念とした教育行政を継承し、さらに推し進めるためにまい進していきたい。

塩素も酸性の力で細菌を殺し、飲めるようにすることにも、改めて納得したようだった。



心を動かす授業を

次の時間では、B T B 試薬で、黄色になった塩酸に、水酸化ナトリウム水溶液を少しずつ加えると、緑色になることを体験した。感想には「B T B で色が変わるのが面白かった。」「金属を溶かす液体の学習で酸性雨の意味がよく分かった。」「実験をするのが、毎回ワクワクして楽しかった。」などあった。

私は、子どもたちの「知りたい」「やりたい」という思いに喜びを感じた。改めて、水の持つ力の偉大さと生命と水の関係を実感し、子どもたちにも実感させる授業を一緒に

つくれて幸せだった。

現代は、知識が豊かといっても、身の回りの自然やものと自分たちの生活との関わりについて実感していないことが多いように感じる。時間やものの変化が早すぎる現代こそ、物事を「おや？」と思い、「おもしろそう」と感じ、「知りたい、調べたい」と行動を起こし、「なるほど」と感動・実感していくことが大切になってくるのではないだろうか。今回は理科であったが、他の教科でも、「心を動かす魅力ある授業づくり」に取り組んでいきたい。

指導・講評

つるせ台小学校校長 今井 寛
本校では「魅力あふれる学校の創造」を学校経営の方針とし、全職員で「学ぶ楽しさ分かる喜び」を体得させ、基礎・基本の定着を図り、確かな学力をつけさせる学習指導に取り組んでいます。

「理科」においては、子どもが自然の不思議を体感し、自分なりの予想を立て、実験や観察を通し確かな知識と学習意欲を高めていくことが大切になってきます。今回の授業実践は身近なものから科学を学ぶ内容であると考えます。

いわゆる「ゆとり」が非難され「学力向上」が叫ばれているが、「学力」とは何だろうか。そこが曖昧のまま学力論争が展開される。結局はどの大学に何人入ったかが目に見える数値目標として追求されてしまうことになる。

知識を得ることは本来人間がより人間らしく生きられるようにするものとして捉えられてきたのではないのか。そ

れがいつしか効率と競争の哲学に絡め取られてしまった。

ピカピカの一年生が中学校卒業までピカピカのままでいてほしい。いや、むしろ9年間で学んだ知でさらに輝く瞳を持つてほしい。

切り取った知識の断片を与えられて、それを覚え込み、ペーパーの上で再現することが学力ではない。教育の目標は学びを軸に自己発達をかち

子どもたちの成長を見守って

ふじみ野小学校学校応援団コーディネーター 高橋 さかえ

ふじみ野小学校の学校応援団は平成13年度に発足しました。本校では「ネットスタッフ」と呼んでおり、子どもたちに親しまれています。

「できる時にできることを楽しんで」を合言葉に、スタッフ一人一人が気軽に活動にかかわれるようにしています。私も発足時より読み聞かせや音楽、書写などの支援にかわり、子どもたちと楽しい時間を過ごしています。

活動の一例として音楽支援

について紹介しましょう。

校内音楽会に向けての練習時の指導が主な活動で、楽器ごとに分かれてのパート練習で、できない箇所を教えたり、円滑に練習が行えるためのお手伝いをしています。また音楽会での会場整理も行っています。一生懸命練習してきた成果を存分に発揮してほしい、演奏を聴くときのマナーを子どもも大人も学んでほしいという思いから、本校では演奏中の入退場やカメラ撮影等を禁止しており、その注意の呼



音楽会終了後、退場する子どもたちに「上手だったよ」と声をかけると、とても明るい笑顔をを見せてくれます。この満足感を忘れずにこれからもさまざまな場面でがんばってほしいと思います。

子どもたちに楽しい小学校生活を送ってほしい、特技や趣味を地域で活かしたいと考えている方はぜひこの活動に加わっていただきたいと思っています。そして、子どもたちの成長を一緒に見守り、応援していきましょう。

水谷中学校2年

菅原 真由

私は小学生の頃、「中学校に行っても大して変わらないだろう」と思っていた。いざ入学してみると、そこは別世界だった。まず、部活動の朝練習が始まるので、登校時間が早くなった。次に勉強が難しくなった。テスト範囲が広く、より難しい内容になった。しかし

中学生になって感じたこと

中学校はつまらないものではない。新しい友達と話ができる。部活動は厳しいけれど楽しい。先輩への礼儀を学べる。行事でクラスが団結できる。

新入生へ。中学校では大変なことはたくさんあるけれど、楽しいことのほうがたくさんある。前向きに楽しめば、大丈夫。私のように、楽しい中学校生活を送ってください。



たくましく育て

富士見台中学校保護者 小山田 孝子

我が家の小庭で育てているサボテン。冬場はほとんど水をあげず、春になるとほんの少し大きめの鉢に移し換え、夏には週一回の水やりをします。最初は一粒のサボテンでしたが、十数年で増えるは増える、今では何百個となりました。

末の娘が義務教育を終え、桜満開の中、高等学校の入学式を迎えることができました。

今までPTA、ボランティア活動で家を留守にすることが多かったのですが、家では子どももサボテンのように、あまり手をかけず自然と大きくなったような気がします。子どもが中学校を卒業したときに、たまった書類の整理をしようとして掃除を始めたところ、三年間通った第六保育所の連絡ノートが出て来ました。一冊のノートの中に三年間の出来事

教育課題特集

生きる力を

がぎゅっと詰まっっていて、なつかしく読み返したところです。

〈保母さんと娘の会話〉

うさぎ小屋をじいっと見て

いた我が子

○「赤ちゃんかわいいね。」

○「たまご生むかなあ。」

○「たまご？どうかなあ。」

○「うさぎさんはみんなと同じでお母さんから生まれるんだよ。」

〈夕涼み会の帰り道三日月を指さして〉

○「お母さん見て見て、お月様がダイエツトしているよ。」

大人になっても、小さい頃の想像力や発見などをいつま

でも忘れないで欲しいです。そしてサボテンのように仲間をたくさん作って心も体もたくましく育つように、これからも見守っていききたいと思います。



家庭教育

一球一球が心の財産

西中学校保護者 西内政美



我が家には、三人の子どもがいます。夫婦共働きのため子育ては毎日忙しく、時間に追われる日々でした。子どもたちは保育所、学童へ通っていたので週末の休みにはできるだけ多く関わりたいと思っていました。保育所、学童では、親の協力する機会も多く、集団の中の子どもの様子も見られたり、キャンプでは肝だめしやキャンプファイヤーな

ど様々な体験ができた、深く子どもと関わりが持てました。また多くの保護者の方と知り合いになれたことも良かったと思っています。

日頃より子どもたちには何かスポーツを通じて体を鍛えるところにも色々な経験を積んでもらいたいと思っています。息子は野球、娘はバスケのチームへと入りました。私は子どもと一緒に少年野

球に参加するようになり、野球を通じ子どもと多くの事を学びました。息子とキャッチボールをすることで、気持ちを確かめ合うことができました。暑い日、寒い日乗り越え子どもがたくましく感じられ、それを支える親も成長できるのだと思っています。

「巨人の星」世代の私は、男の子が生まれたら子どもとキャッチボールをするのが夢でした。一方、TVの中のものやぶ台をひっくり返すシーンは妻に先を越されましたが、今もキャッチボールの一球一球が心の財産になっています。

受け継がれていく子どもの文化

水谷公民館館長 会田 明

水谷公民館を代表する事業に、今年で34回目を迎える水谷青空学校と25回目のみずほ台小区青空学校があります。

夏休みの二日間、小学校三年生から六年生の子どもたちが、公民館や学校を会場に宿泊を中心にした様々な体験にチャレンジします。手打ちうどん作りやナイトラリー、水遊び、フィナーレのキャンプファイヤーなど。

異年齢集団の中で生活のルールを学んだり、普段体験できない地域の自然や文化に触れ、ものづくりの喜びなどを

経験します。「また参加したい」「指導員になって来年も参加したい」そんな声がほとんどです。

この青空学校を企画から運営まで担っているのが、指導員の皆さんです。青空学校での貴重な体験を次の世代に伝えたいと、中学生や社会人になってからも指導員として参加し、青空学校を支えています。

先輩から受け継いだ遊びや生活文化を後輩へつないでいく、こうした子どもの文化が30年以上も受け継がれてきました。これも青空学校の特徴です。

また、食事の準備やナイトラリーのパトロールなど保護者や地域の方々の協力も陰の力として大きな支えとなっています。

今年度も指導員による打ち合わせが始まりました。様々な体験や経験が、心豊かな子どもたちをばぐくみ、生きる力となるよう公民館もお手伝いをしていきたいと思っています。



学校 TODAY

特 集

散ってしまうのではと思われた桜の花がほぼ満開に近く咲き誇る中、市内のすべての小・中・特別支援学校で入学式が行われました。

新しい学校での生活に不安と期待でいっぱいの新入生たち。前年度より引き締まった表情の在校生たち。春の陽光に包まれて、新しい年度がスタートしました。この時期はどの学校でも「入学式」以外にも、「新入生歓迎会」「校舎見学」など、新入生を迎える様々な行事が行われます。どんな様子かのぞいて見ましよう。

市内小・中・特別支援学校での子どもの様子を写真で紹介する『学校TODAY』。今後も五校ずつ紹介していきますので、ご期待ください。



朝から元気に

生徒数が多く、部活動が活発に行われている本校。朝早くから多くの部が活動し、県大会を目指しています。



ドキドキの歓迎会

生徒会が主催している新入生歓迎会。まだごこない仕草で花を受け取る1年生に向けて上級生から大きな拍手が起こりました。

勝
瀬
中



初日から校歌

4月8日(木)入学式。65名の新入生。校歌のCDを貸し出し、春休みを利用して、覚えてくようになっていました。本校では、入学式当日から生徒全員で校歌を歌います。



新入生との出会い

新入生歓迎会では、部活動の紹介も行われます。吹奏楽部も一生懸命準備し、演奏をして、新入生を歓迎します。吹奏楽部の演奏が新入生との出会いを華やかに演出します。

水
谷
中

新年度を迎えて

Ⅱ市教育相談研究室よりⅡ

適応指導教室「あすなろ」のご案内

「あすなろ」とは、富士見市教育相談研究室（富士見特別支援学校三階）に設置されている適応指導教室の名称です。

この教室では、学校へ行きたいけれど行けない市立の小・中学校に在籍する不登校児童生徒の、自立と学校復帰を支援しています。

「あすなろ」は、午前九時から正午まで開室していますから、そのお子さんの状態に応じて自由に利用することが出来ます。本やパズル等を持参するなど、等身大の自分のままで過ごせる居場所です。もちろん、勉強をしたいお子さんには支援します。今はまだその気が起きないお子さんには無理はさせませんし、当然、強要もいたしません。

このように、「あすなろ」は、一人一人の不登校児童生徒の状態に合った通い方や過ごし方を本人の意思を尊重し、保護者の方ともじっくりと時間をかけて一緒に考えていきます。

学校から離れ、様々な活動の機会も少ないので、「あすなろ」では、様々な行事を行っています。



ドッキドキの入学式

6年生のお兄さん、お姉さんに手を引かれながら入場した1年生。期待と不安で胸がいっぱいの様子でしたが、担任が名前を呼ぶと元気いっぱいにお返事ができました。



ようこそ 東小へ

3年生がステキな王冠をかぶせてくれ、6年生と手をつないで入場です。朝顔の種をプレゼントされ、歌やゲーム、クイズをしました。東小の新しい仲間、元気にがんばろうね。

水
谷
東
小



昔の生活は！？・・・

6年生の総合的な学習の時間（チャレンジQ）で水子貝塚公園、難波田城公園に行って来ました。～富士見の昔にタイムスリップ～富士見の昔の人々の生活に迫っていきます。



ピカピカ一年生

新一年生118名を迎え、今年度勝瀬っ子は、総勢631名でスタート。16日（金）には、一年生を迎える会を行い、在校生から温かく迎えられました。

勝
瀬
小



あいさつ運動

1年間を通して保護者の方もあいさつ運動を行っています。新年度を迎え新しい学年になった児童は少し緊張ぎみです。



1年生を迎える会

2年生から朝顔のペンダントを首にかけてもらい、1年生もお礼として元気な声で呼びかけができました。さすが1年生です。

関
沢
小

〈開室期間と主な行事〉

・一学期 四月八日から七月九日

始業式、芋苗植え、田植え、種まき、大掃除、避難訓練、難波田城公園内古民家での宿泊体験活動、終業式等

・二学期 九月一日から十二月十日

稲刈り、遠足、おにぎりパーティー、音楽会見学、花壇作り、芋掘り、スイートポテト作り、柿もぎ、終業式等。

・三学期 一月十一日から三月九日

始業式、餅つき、避難訓練、うどん打ち、お別れ会、通室証書授与式等。

以上のような行事の他、それぞれのお子さんと在籍学校との連携を大切に、そのお子さんの状態や気持ちを十分に勘案しながら徐々に学校復帰に向けた様々な取り組みを行っています。

また、通室生の保護者との面接も定期的に行っています。

通室を希望する方は、担任の先生に申し出ていただくか、本室まで直接ご連絡ください。

問合せ／〇四九一二五三一五三三三
担当者 指導員 深田・久保田

教育委員会だより

◎平成22年度富士見市教育行政方針

- 1 信頼される学校づくりの推進と確かな学力の育成
- 2 豊かな心をはぐくみ、健やかな体を育成する教育の推進
- 3 一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育の推進
- 4 安全・安心な教育環境整備の推進
- 5 平和で豊かな地域社会実現のための生涯学習の推進
- 6 文化的風土をつくる郷土遺産の継承・活用の推進
- 7 明るい市民生活を支える健康・体力づくりの推進

平成22年度の学校教育だより「きんもくせい」の編集委員の先生方をお知らせします。今年度も富士見市の教育理念「人間尊重」の教育を基本とし、その実現を求めて編集に携わっていただきます。よろしくお願いいたします。

編集委員長 保 坂 雅 美 (水谷東小学校校長)
 編集副委員長 三 浦 光 生 (水谷中学校教頭)
 編集委員 嶋 田 茂 雄 (鶴瀬小学校主幹教諭)
 松 波 徳 美 (水谷小学校教諭)
 津 田 奈津代 (諏訪小学校教諭)
 伊 藤 圭 一 (水谷中学校教諭)
 田 島 弘 (富士見特別支援学校教諭)

☆運動会(体育祭)♪音楽会(合唱祭)等の日程

学校名	運動会等	雨天のとき	♪音楽会等
鶴瀬小	9月18日(土)	9月22日(水)	11月 5日(金)
水谷小	9月11日(土)	9月14日(火)	11月 6日(土)
南畑小	9月18日(土)	9月22日(水)	11月 9日(火)
関沢小	9月18日(土)	9月22日(水)	11月12日(金)
勝瀬小	5月29日(土)	6月 1日(火)	11月 5日(金)
水谷東小	5月22日(土)	5月26日(水)	11月 6日(土)
諏訪小	5月22日(土)	5月25日(火)	11月13日(土)
みずほ台小	9月25日(土)	9月28日(火)	11月10日(水)
針ヶ谷小	9月18日(土)	9月22日(水)	11月 6日(土)
ふじみ野小	5月29日(土)	6月 1日(火)	11月 6日(土)
つるせ台小	9月25日(土)	9月26日(日)	11月 5日(金)
富士見台中	9月19日(日)	9月21日(火)	10月30日(土)
本郷中	9月18日(土)	9月22日(水)	11月11日(木)
東中	5月29日(土)	6月 2日(水)	11月 2日(火)
西中	9月19日(日)	9月21日(火)	10月29日(金)
勝瀬中	5月30日(日)	6月 1日(火)	11月 1日(月)
水谷中	9月18日(土)	9月22日(水)	11月12日(金)
富士見特別支援	5月29日(土)	5月30日(日)	11月20日(土)



伸びゆく力

勝瀬中学校教諭

佐久間雄一



中学校に入学してから一年が経ち、子どもたちも、そして私自身も成長を実感できるようになりました。しかし、一方では不安もありました。

面がありました。そんな思いを抱きつつ、迎えた新しいクラス。どんなクラスになるのか、心配していましたが、それは杞憂に終わりました。

「着実に伸びている。」私はそう思いました。しかし、これで満足してはいけません。子どもたちの自主性や協力する心など、さらに向上

この精神でさらに良いクラスにしていきたいと思えます。為せば成る、為さねば成らぬ、何事も

りました。「二年生になると、学校内での生活が乱れがちになる」という話を聞いたことがあるからです。私の実感としても、少なからずこういうことはあるだろうと危惧する活動的なのです。

最初は、私が中心となって行っていたクラスの仕事を、生徒に任せるところ、ほとんど完璧にできたのです。一人一人が活気にあふれ、とても

できる面が多くありそうです。また、子どもたちには、どんなトラブルにも対応できる力を身につけてほしいので、私自身も一生懸命努力していきたいと思えます。最後にクラスに掲示している言葉を紹介します。

編集日記

今年の四月は、寒暖の差が激しく、様々な方面での影響が出ています。学校でも、入学式ではまだ桜が散らずに、満開の桜を背景に新入生の児童と保護者の皆さんが記念写真を撮っている微笑ましい場面がありました。ところが今、校長室から見える校庭では、雨の中、桜草やパンジー、チューリップなどの春の草花が寒さに震えています。さて前置きが長くなりましたが、保護者の皆様、お子様は新しい学校、学年、学級にうまくとけこめましたでしょうか。各学校の先生方、良いスタートが切れましたでしょうか。

最近の学校は、児童生徒と先生、保護者だけで成り立ってはおりません。地域の皆様方の支援なくしてはより良い教育が難しくなってきました。学校応援団、地域子ども教室、様々な授業支援、部活動の外部指導、校外安全パトロール等々でございます。学校・保護者・地域が一体となつて児童生徒の健全育成を図れることを願ってやみません。

(保坂)